

令和3年7月17日の前線の影響による 北川ダム防災操作の効果について

令和3年7月17日

【速報推計】

前線の影響に伴い、16日16時から雨が降り始め17日7時までに累計111mmの降雨があり、7時55分には洪水量200m³/sに達し洪水調節を開始しました。

その後も流入量は増加し、17日10時10分には最大の314.5m³/sに達しました。その時点でのダムからの放流量(発電放流のみ)は24.3m³/sで、ダムの貯水率が低下していたことから、流れ込んだ水量の約92%にあたる、290.2m³/sをダムにためました。

その後、降雨及び流入量は次第に減少し、17日15時02分には洪水量の200m³/s以下となり洪水調節を終了しました。流域平均総雨量は、180mm(16日16時～17日16時)で、流域平均時間最大雨量は、33mm(17日7時)でした。

今回の洪水調節により、下流河川(熊田橋地点)において、河川水位を約1.42m低減させたと推測しています。

今回はゲートからの放流は行っておりません。



問い合わせ先

大分県 土木建築部 河川課 ダム・海岸班

電話 (097)506-4595(直通)

大分県 芹川・北川ダム管理事務所 北川ダム管理支所

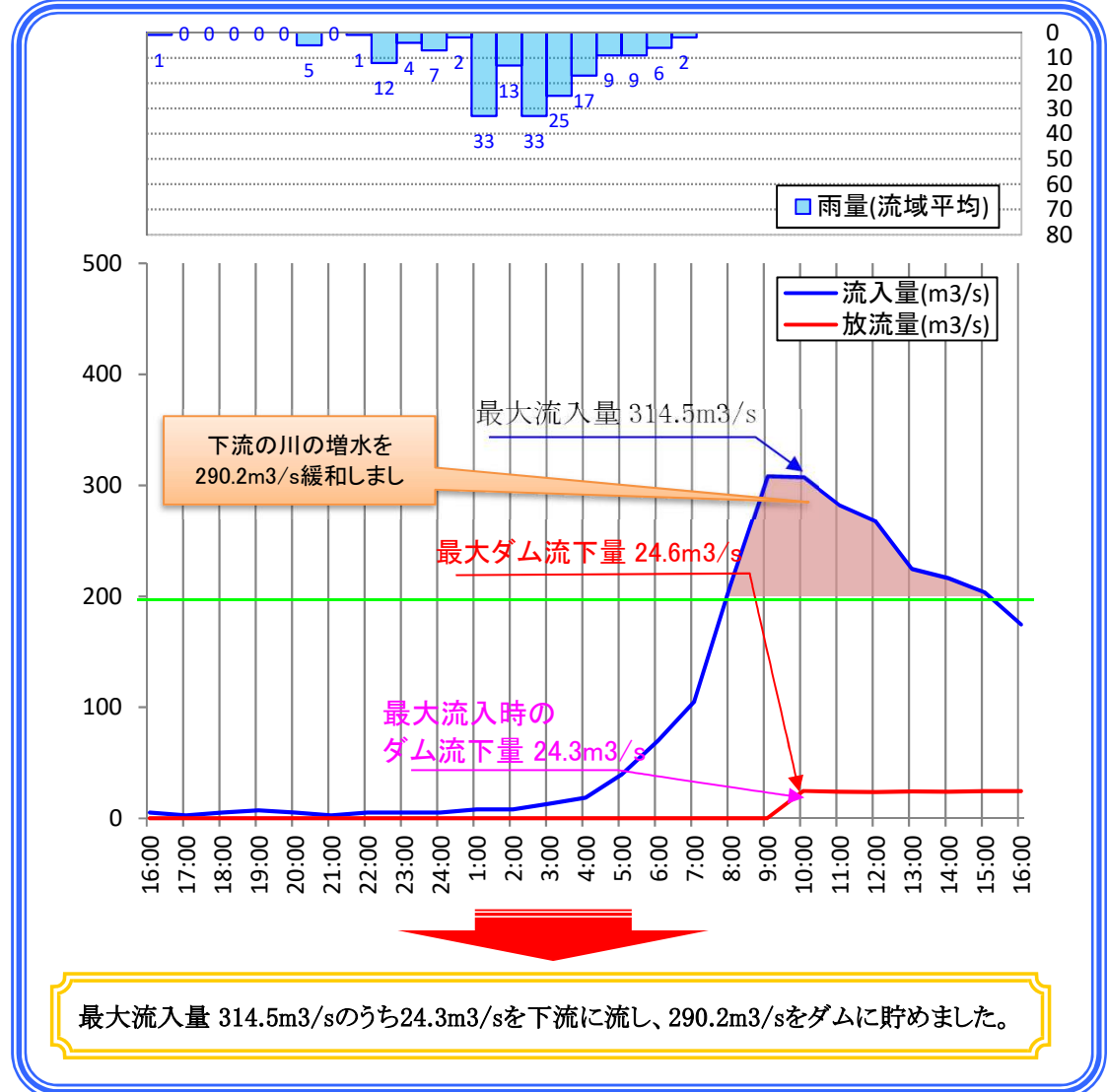
電話 (097)597-6890

令和3年7月17日の前線の影響による 北川ダム防災操作の効果について

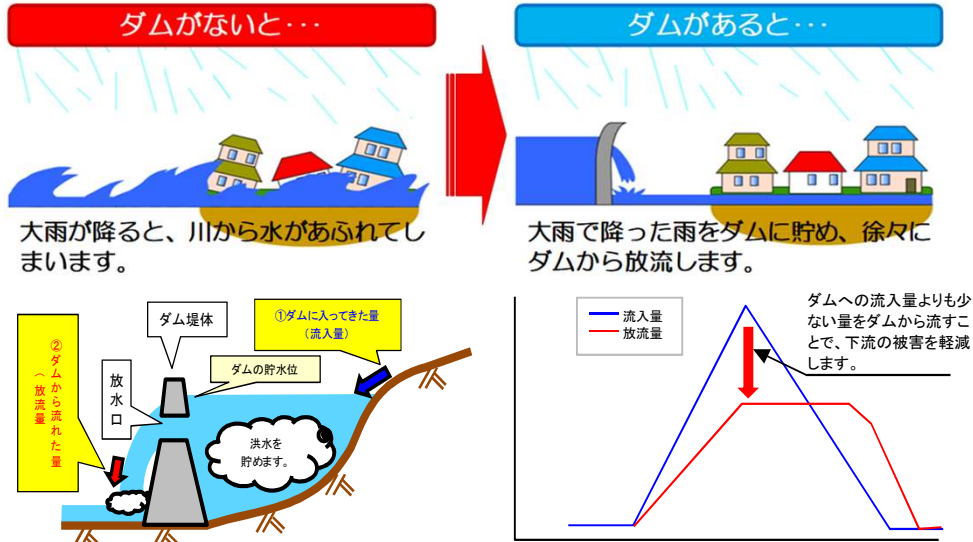
【北川ダム位置図】



【防災操作実績図(速報値)】

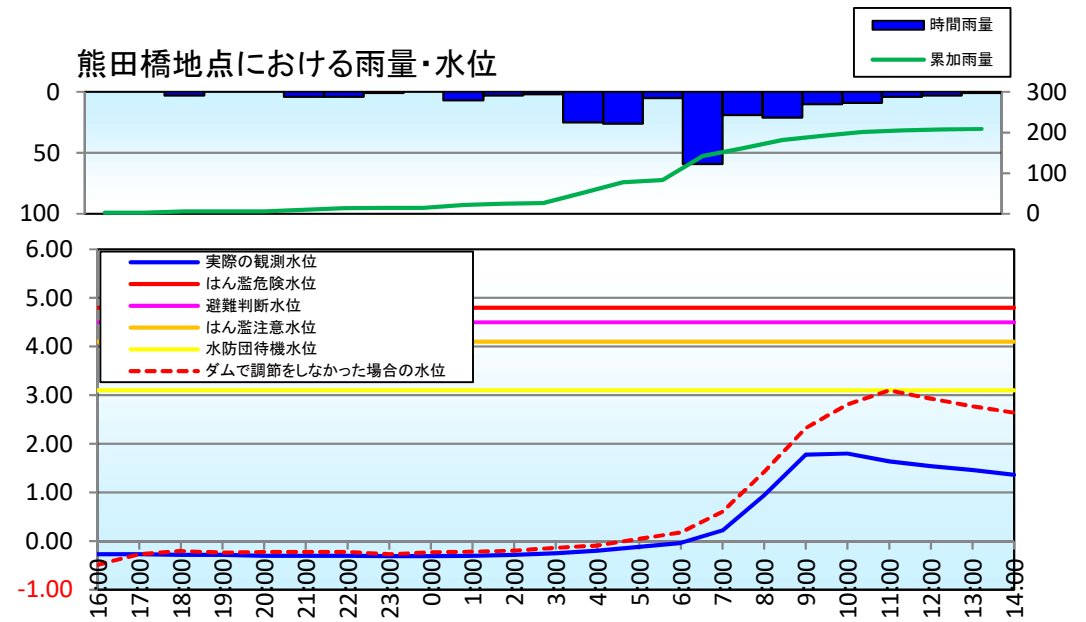
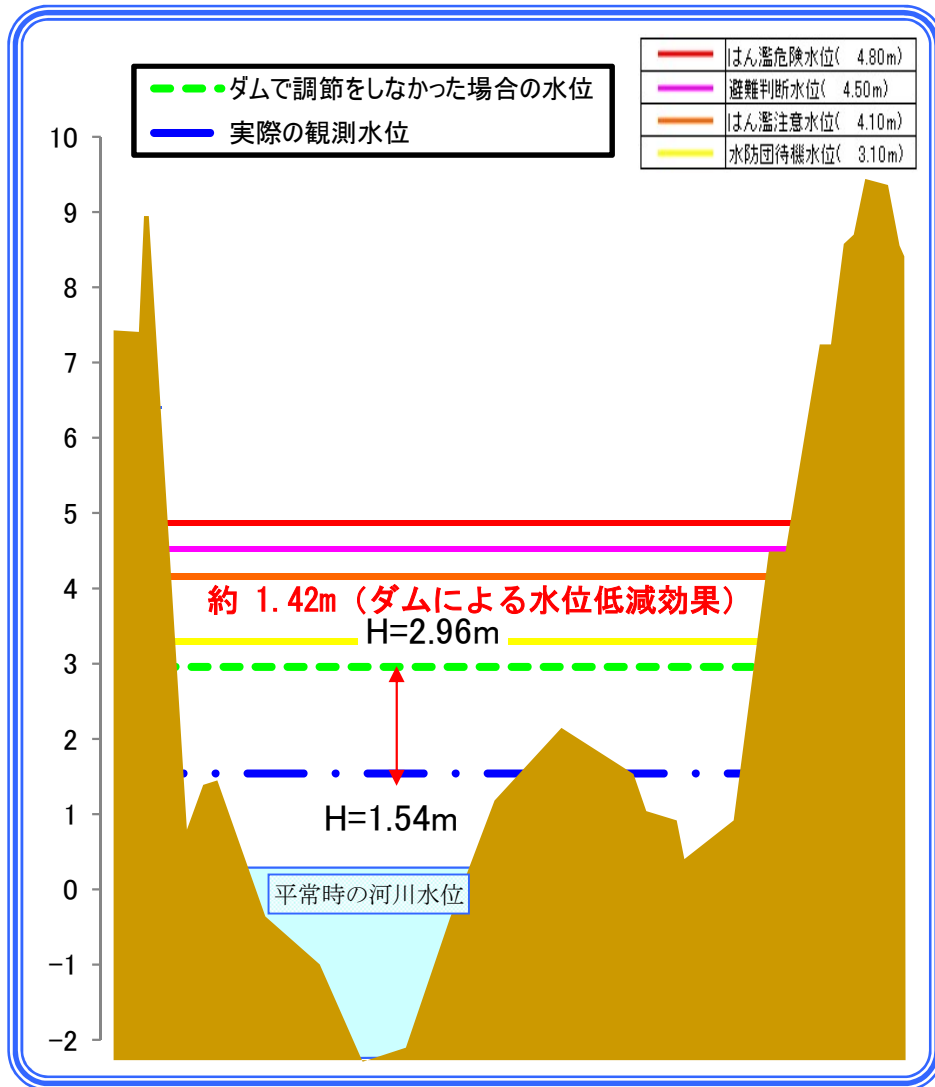


【ダムの治水効果】



令和3年7月17日の前線の影響による 北川ダム防災操作の効果について

【 延岡市北川町 熊田橋地点(北川、小川合流点)の河川水位比較 】



(ダムで調節をしなかった場合の水位はおおよその推定です。)

